

草の根技術協力（地域活性型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	タイ王国
2. 案件名	タイ王国レムチャバン市下水道インフラ維持管理支援プロジェクト ～SDGs6.3(未処理汚水の半減)の達成に向けて～
3. 事業の背景と必要性	レムチャバン市の下水処理システムは 1995 年に整備されたが、2020 年 2 月に埼玉県下水道局とレムチャバン市が実施した現地調査の結果、下水処理場は 7,000m ³ /日の設計流入量に対し、わずか 1,000m ³ /日しか下水が流入しておらず、下水管渠内の土砂の堆積や中継ポンプ場の故障等により、下水の滞留や腐敗、砂分の堆積など維持管理の問題を引き起こしている。更に、処理場の運転資金が不足や下水道システムの機能不全による水質汚泥などの課題があり、下水道施設の適切な維持管理が行えるようレムチャバン市職員の能力を向上させることが必要である。
4. プロジェクト目標	レムチャバン市の下水道維持管理能力が向上する。
5. 対象地域	タイ王国チョンブリ県レムチャバン市
6. 受益者層（ターゲットグループ）	レムチャバン市下水道関係職員約 15 名、現地維持管理職員 20 名レムチャバン市民（総市民数約 9 万人）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. 下水管路網の流下機能が改善される。 2. 下水処理場がより効率的に運営される。 3. レムチャバン市の下水道広報計画書が作成され、試行される。 <活動> 1. <u>市や WMA 職員との協働（点検・調査・清掃）による下水道管路網の機能回復</u> 1-1 下水管渠網の点検調査を実施し、流下阻害要因を分析する。 1-2 本邦研修において管渠の調査・清掃に関する技能を習得する。 1-3 本邦研修において、レムチャバン市下水管網の課題を分析し、機能回復のためのアクションプランを作成する。 1-4 アクションプランに基づき、市・WMA 職員と協働して清掃作業を実施し、管路の機能を回復させる。 1-5 中継ポンプの水抜き調査、補修または交換により送水機能を回復させる。 1-6 点検・調査・清掃といった一連のプロセスを、維持管理マニュアルとしてとりまとめる。 1-7 レムチャバン市下水管網の維持管理が、マニュアルに沿って実施されているかモニタリングする。 2. <u>流入増に対応した下水処理場の効率的運転の実現</u> 2-1 処理場に計測装置を設置し、運転状況の遠隔監視体制を構築する。

	2-2 本邦研修や WMA シラチャ研修センターでの研修により、下水処理場の効率的な運転方法に関して学習する。 2-3 本邦研修や WMA シラチャ研修センターでの研修でレムチャバン市の現状と課題を分析し、効率的運転のためのアクションプランを作成する。 2-4 アクションプランに基づき、揚水ポンプなどの改築や遠隔監視体制等を活用したアドバイスを参考にして、処理場の省エネ・省コスト運転を行う。 2-5 下水処理場の維持管理マニュアルを作成する。 2-6 レムチャバン市の下水処理場の運転が、マニュアルに沿って実施されているかモニタリングする。 3. <u>下水道広報計画書の立案と市民への普及啓発活動の試行</u> 3-1 レムチャバン市の下水道運営に関する課題を分析する。 3-2 課題分析に基づき、今後の持続的運営に向けて必要と考えられる市民に対する下水道広報計画書を立案する。 3-3 下水道広報計画書に基づき、活動 1, 2 の内容や下水処理の重要性に関する普及啓発活動の資料（動画等）を作成する。 3-4 活動 1, 2 の成果や 3-2 で作成した下水道広報計画書をレムチャバン市役所幹部や市民の代表などその他関連するステークホルダーに発表するワークショップを開催する。 3-5 埼玉県の実施するイベントや県内高校・大学での講義で、タイにおける下水道の維持管理の技術協力活動に関する紹介を行う。
8. 実施期間	2022 年 9 月～2026 年 1 月
9. 事業費概算額	46,198 千円
10. 相手国実施機関	タイ国チョンブリ県レムチャバン市
Ⅱ. 団体の概要	
1. 実施団体/指定団体	提案団体：埼玉県 指定団体：埼玉県下水道局
2. 主な活動内容	2012 年～2014 年、2016 年～2019 年に草の根技術協力事業を実施した。